

くにたち  
東京都立国立高等学校様

## お客様訪問

No.33

## ■ 東京都立国立高等学校様の特徴を教えてください

自由闊達な校風の下、「全部やる、みんなでやる」を合言葉に、最高レベルの文武両道の実現を目指しています。高校生活の3年間、青春のエネルギーを完全燃焼しながら全速力で駆け抜けています。

## ■ トイレ診断を活用して良かったことを教えてください。

本校のトイレは「臭い、汚い」というクレームが以前から寄せられていた。昨年度は用務員さんが校内で最も臭いトイレの床を高圧洗浄するなど、臭気を抑える努力をしてきました。今年度に入り、アメニティの「トイレ診断」を知り、悪臭原因調査をお願いしました。原因がはっきりしたので、手をつける順序、

改善の為の手法、清掃の役割分担など、明確に仕分けることができました。



▲「国立高校トイレニュース」  
※トイレの改善活動を校内全てのトイレに掲示しました

## ■ トイレに関して気をつけていける点や、工夫している点を教えてください。

トイレをきれいに維持するには日頃のメンテナンスが大切です。そこで、便器や床をうっかり汚してしまった本人がさっと拭き取れるよう、「おつまみさん」というネーミングの火ばさみをオリジナルで作成し、校内全ての和式トイレに

設置しました。遊び心を加えることで「かわいい」と好評です。一人ひとりのちょっとした意識が、トイレをきれいに維持するカギになると思います。

## ■ 最後に、担当(ショップ)に一言お願いします。

ただ単に診断するだけでなく、診断結果をどう活かすべきかを親身に考えていただきました。トイレ掃除の奥深さに感銘さえ受けました。これからも国高の取組を見守っていてください!

▲「おつまみさん」

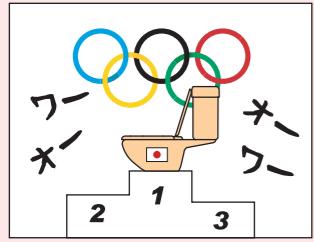
☆ 私が担当しています! ☆  
SHOP  
アメニティ本部 神奈川県横浜市 鈴木 信宏(すずき のぶひろ)さん  
トイレ診断士 ID: 10-0104-0173

国立高校様とは、臭気対策としてトイレ診断に携わらせて頂きました。事前の打ち合わせや当日の診断ご同席の間など「生徒さんが充実した学生生活を送れる為に」と、ご担当の方々より熱意を語って頂きました。診断後の用務員さんの清掃やトイレニュースなど、大変勉強になりました!今後の取り組み、楽しみにしています!

## 主婦ライター・水仙の水に流せない“廁”論

第6回 2020年オリンピック開催、心のこもった「おもてなしトイレ」に出会いたい!

2020年の東京オリンピック開催が決まりましたね!日本の招致プレゼンテーションも話題になりました。中でも、滝川クリステルさんのスピーチに出てきた「おもてなし」という言葉に注目



が集まっています。“トイレでおもてなし”にもとても興味がある私としては、見逃せない言葉です。

日本のトイレ技術は世界でもトップクラス!「便座が温かい」「フタが自動で開閉する」などの機能は、先進諸国の人たちからも「快適すぎて信じられない!」と言われるほどです。これらはトイレに絶対に必要なものではないけれど、“より快適に使えるように”と願う「日本のおもてなし」

を体現したものといえるでしょう。ところが、その素晴らしい機能が賞賛される一方で、「でも使い方がよく分からないんだよね」という外国人も多いのです。私自身、洗浄ボタンが見つからず、何分も必死で探し続けた…という経験も。せっかくの「おもてなし」がきちんと活用されないとしたら、とてももったいないですね。

私は「おもてなしとは想像力」ではないかと感じています。た

とえば、トイレ内の日本語を全て隠して使ってみたり、お腹に重りを着けて妊婦さんになったつもりで入ってみたりするのもいいかもしれません。ハイテク機器でもまかなえない部分は、人の手が必要になります。企業の「おもてなし教育」のニーズが高まる予感もしています。

2020年、どんな「おもてなしトイレ」に出会えるでしょうか。今からとっても期待している私です。

## 編集後記

水に流せない“廁”論に出てきた「使い方が分からないほど」の高機能。確かに数年使い続けた製品で「え、こんな機能あったの!?’と驚いた経験もあります。よく、日本のものづくりは「過剰品質」だと揶揄されることがあります、「過剰品質」は「過剰な愛情」からくるのだと本で読み、なるほどと思いました。2020年には一体どんなトイレと出合えるのか、私も楽しみです。(雉撃弾)

## Information!

トイレ診断士達のブログと検索してください。  
<http://www.toireshindan.com/>

「トイレ診断士」によるブログをご存知ですか。全国のトイレ診断士が、トイレを通して思うこと、感じること、診断の実情などを赤裸々に語っています。お気軽に覗いてみてください。



## あなたの町のアメニティネットワーク

コンサ イイ トイレ  
アメニティ本部フリーダイヤル **0120-57-1110**

トイレを楽しくする新聞  
**かわや版**  
KAWAYABAN

http://www.amenity-network.net/  
Amenity Network

[発行所] 株式会社アメニティ  
〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町685  
TEL:045-371-7676(代) FAX:045-371-7617  
Copyright ©2013 AMENITY INC All rights reserved

2013 晩秋号  
Vol. 46

# 特集 トイレの消臭・芳香

## 目的は同じニオイの対策

「消臭」も「芳香」も「トイレのニオイを良い状態にする」というのが目的です。しかし、消臭は「ニオイを消す」ものであり、芳香は「ニオイを放つ」ものです。同じ目的なので一括りにされることもありますが、両者は全く逆の効果を現します。

## 消臭の種類

消臭には大きく分けると「中和法」「吸着法」「オゾン法」の三つの方法があります。

《中和法》 空気中に消臭成分を拡散させて悪臭成分を無臭成分に変化させる方法です。

《オゾン法》 オゾン発生装置等を使い、空気中の酸素からオゾンをつくり出し、オゾンで悪臭成分を吸着させて消臭します。しかし、穴が埋まると消臭効果はなくなるため、よほど大きな物質でない限り高い効果は期待できません。

《吸着法》 フィトンチッド(ヒノキやユーカリ等から抽出される天然植物精油)等から抽出される天然植物精油をつくり出し、オゾンで悪臭成分を吸着させて消臭します。

トイレ関連製品の中には、「消臭剤」「芳香剤」といった二オイ対策の商品が数多く並びます。しかし、「消臭」と「芳香」の違いは何処にあるのでしょうか。また、同じ「消臭」をうたう製品の中でも、その方法や特性は異なるようです。

今回の特集では、トイレにおける「消臭」と「芳香」の違いや、特徴を紹介します。

成分を変化させて消臭する方法です。ただし、オゾン自体に独自のニオイがある、金属類を腐食させる、高濃度になると人体に悪影響を及ぼすなど、使用にあたっては注意が必要です。また、オゾン自体が不安定な物質なため、安定した消臭効果を求めるには、適切な管理が必要と言えます。

## 芳香とは

芳香によるニオイの対策をマスキング法と言います。

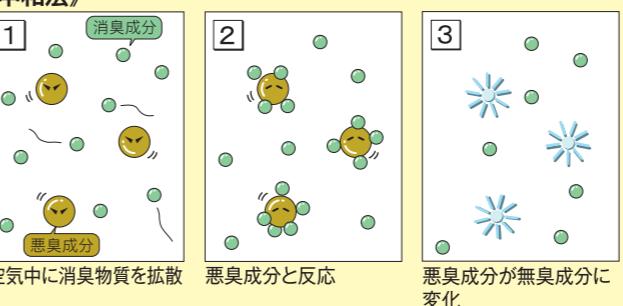
《マスキング法》 空気中に強い香りを拡散して悪臭を分かれ難くする方法です。根本的に悪臭を消滅させているわけではなく、他のニオイでごまかす方法です。その為、悪臭と芳香剤

## まとめ

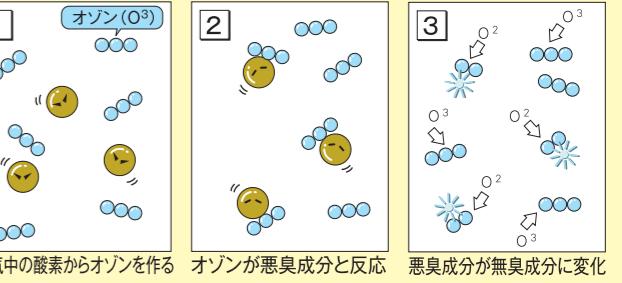
「消臭」「芳香」を行う際は、まずはニオイの原因を知ることが大切です。その上で、原因にあった処置を施し、どうしても発生してしまうトイレのニオイ対策として、環境に適した「消臭」や「芳香」を行なうことが重要です。

## 芳香の種類

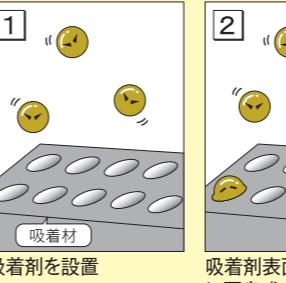
## 《マスキング法》



## 《オゾン法》



※オゾン濃度が高いと人体に悪影響を及ぼす(日本産業衛生学会:許容濃度0.1ppm)



# 文献に学ぶ「トイレ文化」



このコーナーでは、「トイレ文化」に注目し、トイレに関する興味深い文献を紹介致します。

## 第6回 近代化のなかの便所

### 近代的公衆便所は横浜から

江戸が東京と名を改めた明治初年、欧米の文明との窓口となっていた港街・横浜では、新しい情報が満ちあふれていた。近代的な公衆便所のルーツを探ってみると、やはりこの時期の横浜の動きに注目する必要がある。

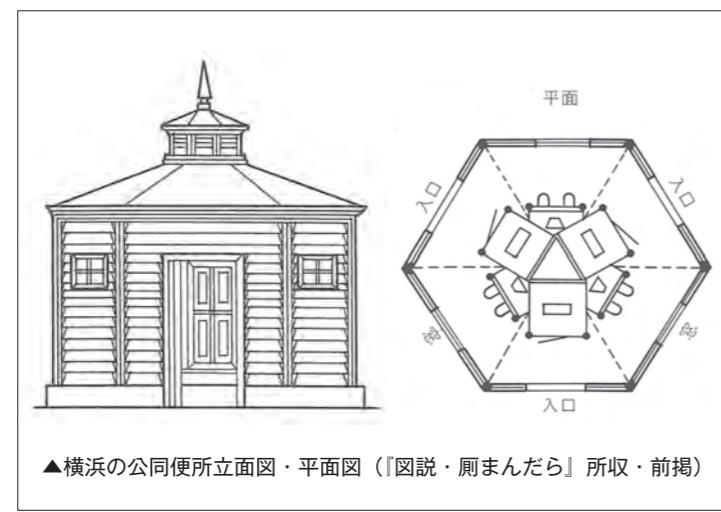
当時の横浜は、すでに開港後10年の歳月が経ち、外国人の居住者も増えつつあった。しかし町では日本人の立小便があとを絶たず、それが外国人の強い不満の種になっていた。実際、明治4(1871)年、横浜の巡査(明治初期の警察官の称)は、放尿の取締りを主要な任務としていたほどであったという。翌年に布達された「違式註違条例」は今日の軽犯罪法にあたるものだが、その条文の中にも「市中往来筋において便所にあらざる場所へ小便するもの」「店先において往来に向ひ児に大小便せしむるもの」の禁止事項が挙げられている。

こうした取締りと並行して、神奈川県は明治4年11月に、町の辻に公衆便所を新設するように示達し

た。その数は翌年4月には83箇所に達したが、当初のものは四斗樽を地面に埋め、板囲いをしただけの粗末なものにすぎなかった。これを見かねた横浜在住の薪炭商・浅野総一郎は、この公衆便所の屎尿処理を一手に扱い、近郊農村はおろか船で千葉県にまで出かけて行って、肥料として売り捌き、巨利を得たといわれている。

ここで公衆便所開設にまつわる珍談を紹介しておこう。明治5年、郵便制度が整備されて各地に郵便函(ポスト)が設置されたが、かねて「こんど横浜に公衆便所ができるそうだ」と聞いていたある田舎漢、辻に立っている「郵便函」の文字を「垂便函」と誤解し、「ハハアこれだね」とうなずいて、さっそく差入口から用を足したとか。

さて文明開化から1世紀余り。横浜の公衆便所はまた新しい話題を提供した。それは国鉄横浜駅に設置された2つのトイレである。ひとつは壁面トイレ



▲横浜の公衆便所立面図・平面図(『図説・廁まんだら』所収・前掲)

第1号。もうひとつは清掃管理人が常にいるチップ式トイレの第1号。ともに悪評高い国鉄の公衆便所を何とかしようという、クリーントイレ作戦の一環として考案されたものである。昔も今も、横浜は新しいものを生み出す土壤をもっているようだ。



[出典] 便所のはなし(86-87頁)(93-95頁)  
発行所:鹿島出版会  
著者:谷直樹・遠州敦子  
発行:1986年12月25日(第1刷)

### 日本最初の汽車便所

文明開化の時代、乗物の花形は陸蒸気と呼ばれた鉄道であった。明治5(1872)年に新橋・横浜間で初めて開通し、同7年には大阪・神戸間、さらに同10年には大阪・京都間の営業が始まるなど、順調なスタートを切った。当時の客車には現在のような車輌便所はなかったが、幸い駅での停車時間が長かったため、乗客は駅の便所で十分間にあっていた。ところが鉄道線路が延長されるとともに、汽車便所設置の要望が高まってきた。明治20年代になると、新聞も「汽車に便所をつける必要あり」と題して、

新橋長浜間なる各停車場に1分ずつの時間を省くも、なお56分の早着となる詳なれば、鉄道線路の延長に連れ、停車場の数又從て増加する今日に、此れ時間節約の法を講ずるは、最も急務なりとす

と報じている。当時の汽車旅行は、新橋発午前6時の1番列車に乗り込むと午後9時によく滋賀県長浜に到着しているから、ずいぶん長旅といえるが、それだけに汽車便所を設けるだけで約1時間も短縮できることは大きな魅力だったにちがいない。

もうひとつ、ちょうどこの頃、汽車便所設置のきっかけを作った惨事が起こった。明治22年4月27日、肥田浜五郎という人が、藤枝停車場で列車事故に遭い、それがもとで死亡したのである。氏は平素から用

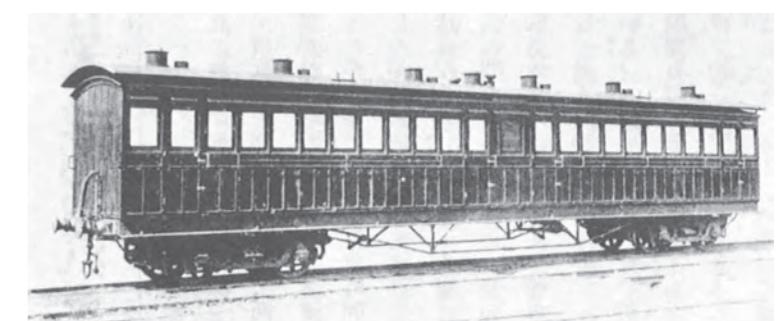
心深い人で、途中の用便も予め決めているほどであったが、あいにく静岡停車場が折からの茶摘みで混雑し、止むなく次の藤枝で便所に入った。ところが列車が進行しはじめたのに気づいて急ぎ飛び乗った途端、不幸にも列車の間に落ちこんで事故に遭った。彼は当時、宮内省御料局長官を勤める高官であったため、この事件がきっかけになって政府も重い腰をあげることになった。

最初の汽車便所は、ホイロ5150型客車の中央に設けられた。その構造は「一方に戸を隔てて便所を設け、一人入れば鍵にてこれを閉じ、一方に手洗水(屋根より管にて水を引く都合なり)を設く。其他腰掛の具合、帽子掛けの模様、点燈の数も一々備りて、長途の旅に適する様」に製造され、特に内部は「日本風の

結構」であったと報じている。汽車便所第1号としては、室内の設備および意匠ともになかなか立派なものであった。

ところがこの便所は、車両の下にたれ流す欠陥品であった。初めてで慣れない乗客は、「汽車の進行中は、無論用便を達する事能わざる(できない)ものと心得、たまたま汽車の停車場に停まるを待って、互に競ふて便所に入るが故に、停車場内は、前日に引替えへ、不潔至極の場所となり行くの傾きあり」と、早くも公害ならぬ「黄害」が発生したことを報じている。

国鉄の車輌便所がタンク式に代つたのは、昭和39(1964)年に開通した東海道新幹線が最初というから、この間、実に75年の歳月が経過していたのである。



▲最初に便所を設けた客車

明治22年、内閣鐵道局が英國メトロボリタン社に注文輸入した「2軸ボギー上中等合造客車」の中央に便所と洗面所が設けられた。屋根中央には水注入口があるので見える。(日本国有鉄道編『鉄道技術発達史 車輛と機械』1958年刊)

新幹線車輌新九号車便所の断面図▶  
(日本建築学会編『建築設計資料集成』第三巻所収・九善刊)

